

Fight !



たしざんをしましょう。

$1 + 7 =$

$6 + 7 =$

$2 + 7 =$

$7 + 7 =$

$3 + 7 =$

$8 + 7 =$

$4 + 7 =$

$9 + 7 =$

$5 + 7 =$

$2 + 7 =$

7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----

口コモ 10 - 2

なまえ

たしざんをしましょう。

$5 + 7 =$

$8 + 7 =$

$9 + 7 =$

$4 + 7 =$

$3 + 7 =$

$5 + 7 =$

$1 + 7 =$

$2 + 7 =$

$7 + 7 =$

$6 + 7 =$

7 8 9 10 11 12 13 14 15 16



口コモ 10-3

なまえ

せん
線でむすびましょう。

ふえ ふ
笛吹けども

ちゃ
茶をわかす



ぶた
豚に

けん つよ
剣よりも強し



へそが

おど
踊らず



ペンは

さんど
三度



ほとけ かお
仏の顔も

しんじゅ
真珠



口コモ 10-4

なまえ

せん
線でむすびましょう。

へそが

さんど
三度



ほとけ かお
仏の顔も

けん つよ
剣よりも強し



ふえ ふ
笛吹けども

ちゃ
茶をわかす



ペンは

しんじゅ
真珠



ぶた
豚に

おど
踊らず



口コモ 10-5

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ふえ ぶ
笛吹けども
おど
踊らず

がくもん ぶりよく
学問は武力よりもつよいぞ



ペン^{けん}は
剣よりも強^{つよ}し

どんなにやさしくても、
最後^{さいご}にはおこるよ



ぶた しんじゆ
豚に真珠

さそい^{さそい}にのってこないなあ



ほとけ かの さんど
仏の顔も三度

かち ひと
価値^{かち}がわからない人には
やく 役にたたない



へそが
ちや
茶をわかす

おかしくてたまらない!



口コモ 10-6

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

ぶた^{ぶた}に真^{しん}珠^{じゆ}

おん^{おん}わ^わな^なひ^ひど^ど
穏和な人でもたびたび
ひどいことをされれば
はら^{はら}
腹をたてる。



ほとけ^{ほとけ}かお^{かお}も三^{さん}ど^ど
仏の顔も三度

がく^{がく}もん^{もん}ちから^{ちから}ぶりよく^{ぶりよく}
学問の力は武カよりも
偉大である。



へそが
ちや^{ちや}
茶をわかす

よ^よいものも、か^かち^ちのわから
ない人^{ひと}にはやく^{やく}にた^たたない。



ふえ^{ふえ}ふ^ふ
笛吹けども
おど^{おど}
踊らず

おかしくてたまらない
こと。



ペン^{けん}は
つよ^{つよ}
剣よりも強し

きそ^{きそ}おう^{おう}
どんなに誘っても応じて
うご^{うご}
動き出さないこと。



口コモ 10 - 7

なまえ _____

かけざんをしましょう。

$$8 \times 1 = 8$$

$$8 \times 2 =$$

$$8 \times 3 =$$

$$8 \times 4 =$$

$$8 \times 5 =$$

8 16 24 32 40

口コモ 10 - 8

なまえ _____

かけざんをしましょう。

$$8 \times 5 =$$

$$8 \times 6 =$$

$$8 \times 7 =$$

$$8 \times 8 =$$

$$8 \times 9 =$$

40

48

56

64

72

口コモ 10-9

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

やわらかに

となり なに
隣は何を
する人ぞ



あきふか
秋深き

けわり
たばこの煙
先飛びぬ



あき
けさの秋

ひとわ
人分けゆくや
勝ちずもう
勝角力



口コモ 10-10

なまえ

せん
線
でむすびましょう。

あきふか
秋深き

ひとわ
人分けゆくや
かちずもう
勝負力



やわらかに

となり なに
隣は何を
するひと
ぞ

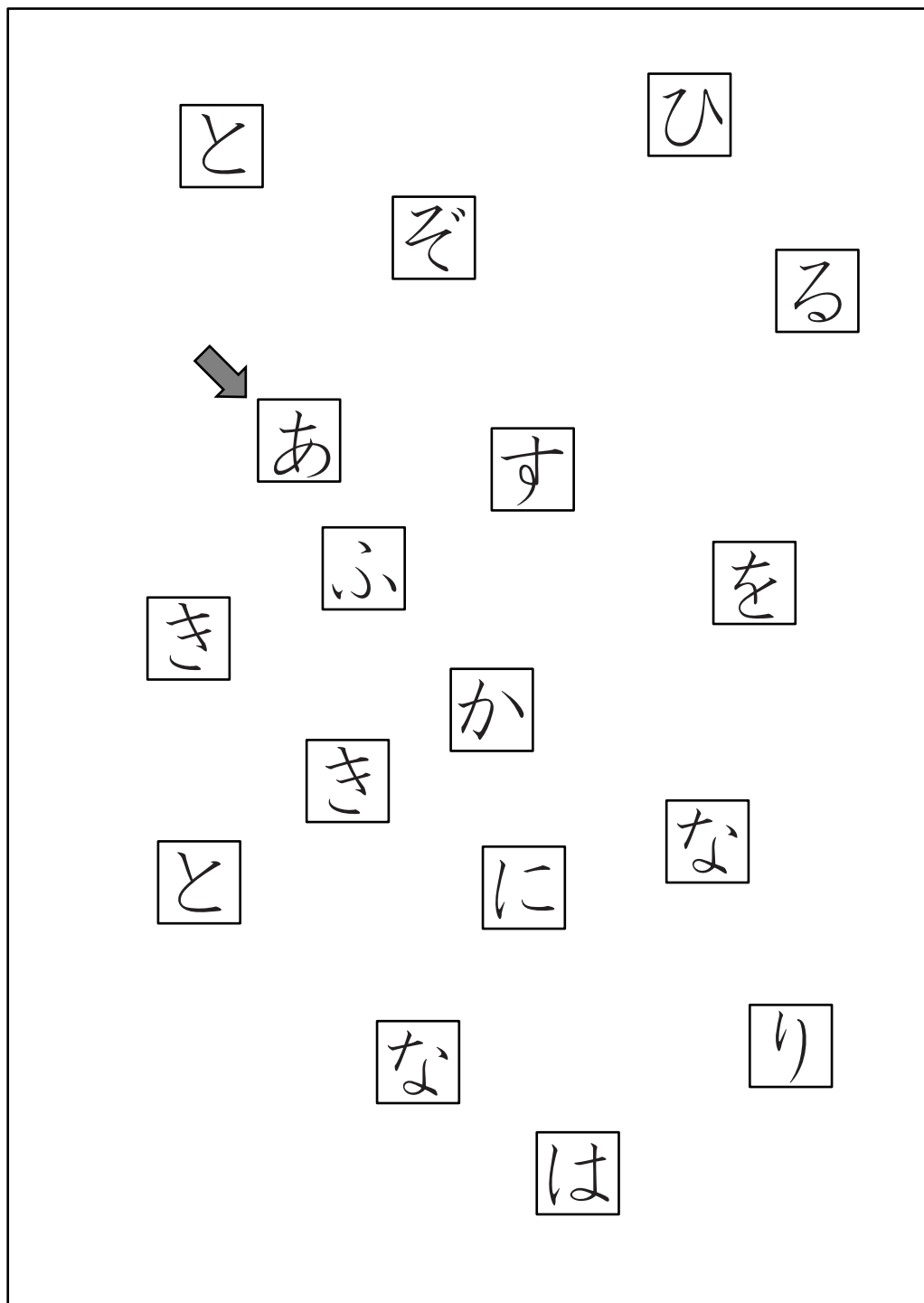


あき
けさの秋

けおり
たばこの煙
さきと
先飛びぬ



せん
線でむすびましょう。

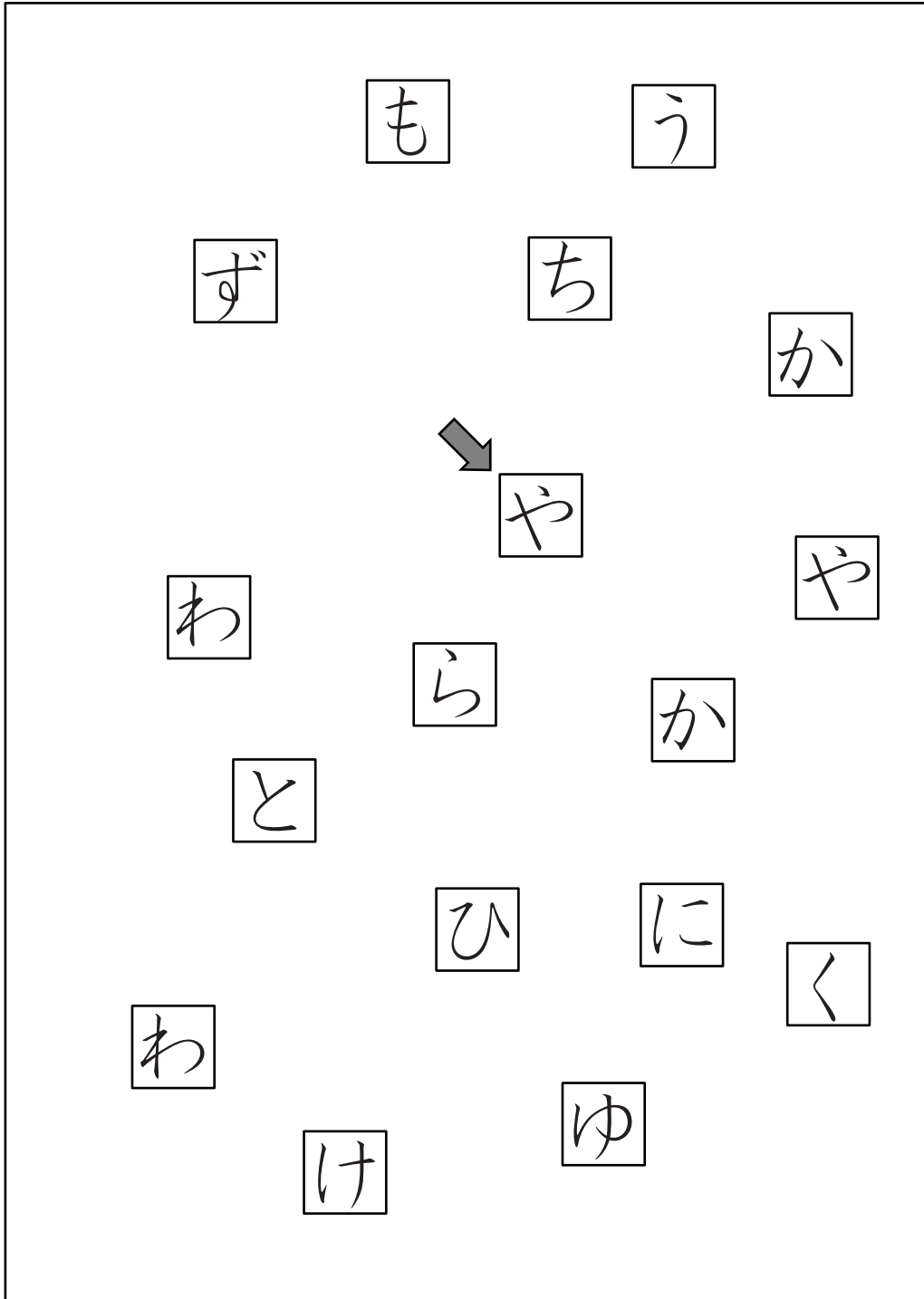


あきふかきとなりはなにを……

口コモ 10 - 12

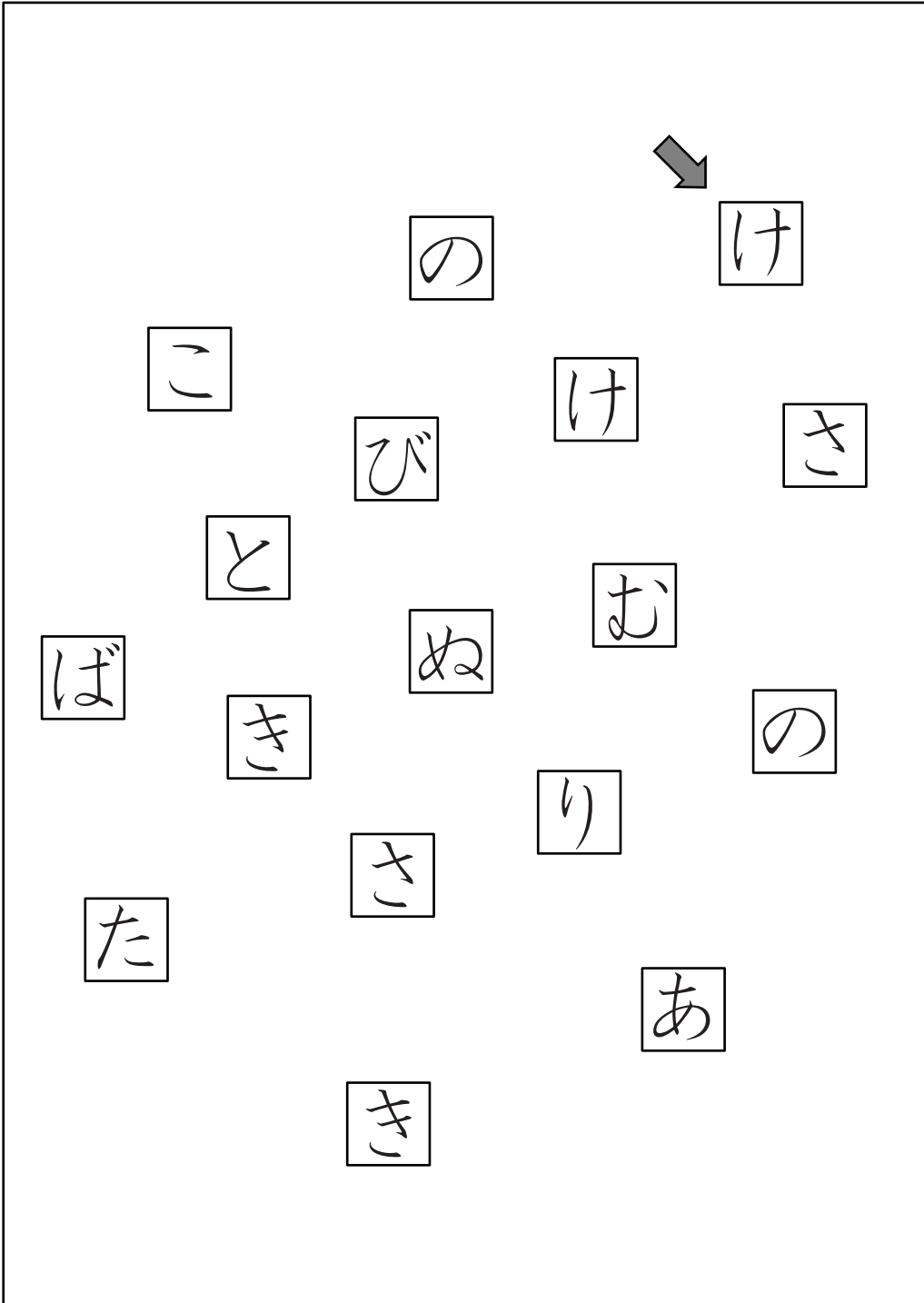
なまえ

線^{せん}でむすびましょう。



やわらかに……

線^{せん}でむすびましょう。



けさのあき……

口コモ 10 - 14

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			あ
		□	□
		な	ふ
		り	か
		は	□
	す	な	
	□	を	
	ひ		
	と		
	□		

松まつ尾お芭ば蕉しょう

口コモ 10 - 15

なまえ

□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

や

ら

か

ひ

と

け

ゆ

や

か

ず

う

高井几董
たか い き どう



口コモ 10 - 16

なまえ

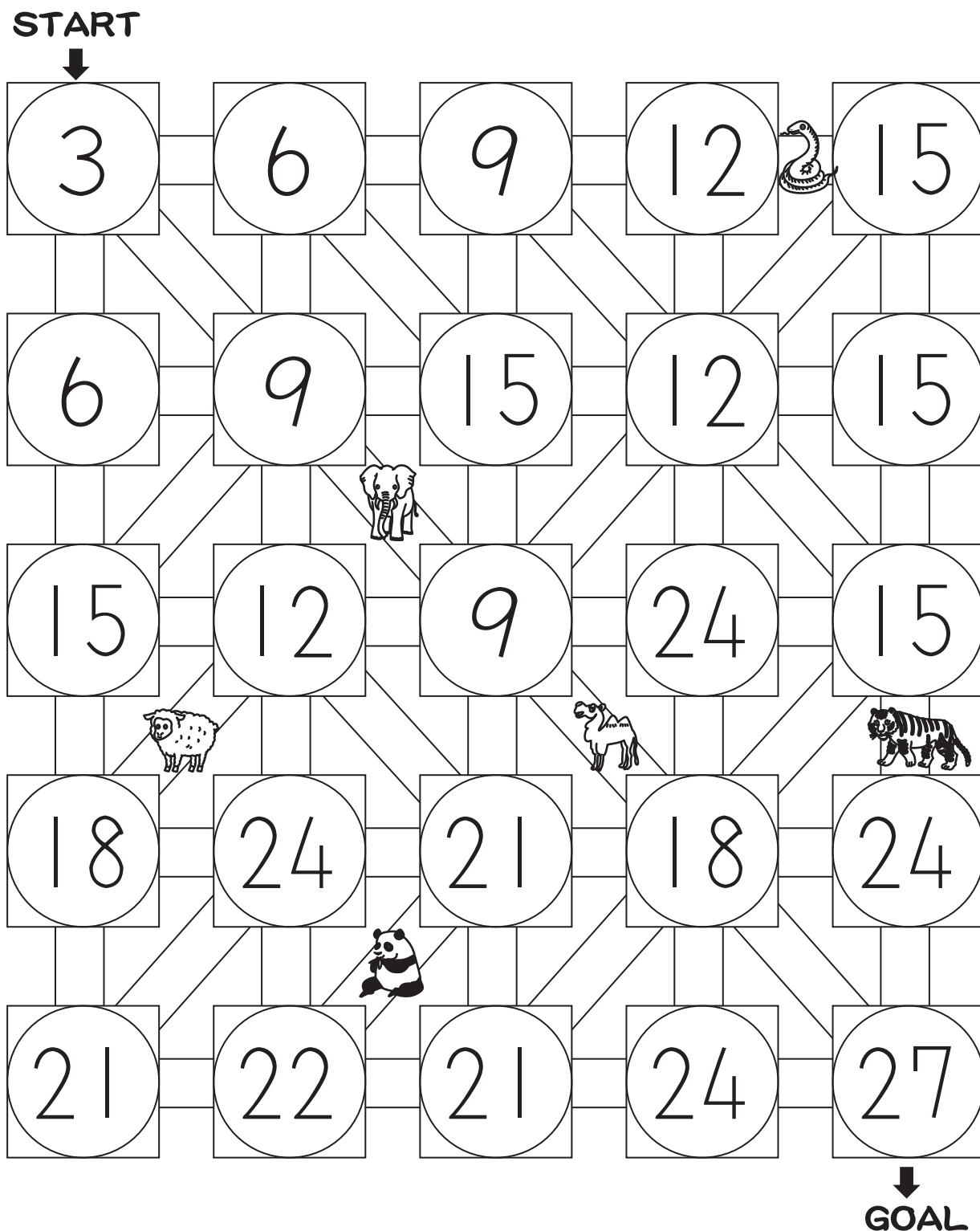
□の中に文字をいれ、俳句をつくりましょう。

			け
		た	さ
		ば	□
		こ	□
		□	き
	さ	□	
	□	け	
	と	□	
田 ^た	び	り	
川 ^{がわ}			
移 ^い			
竹 ^{ちく}	□		

口コモ 10-17

なまえ

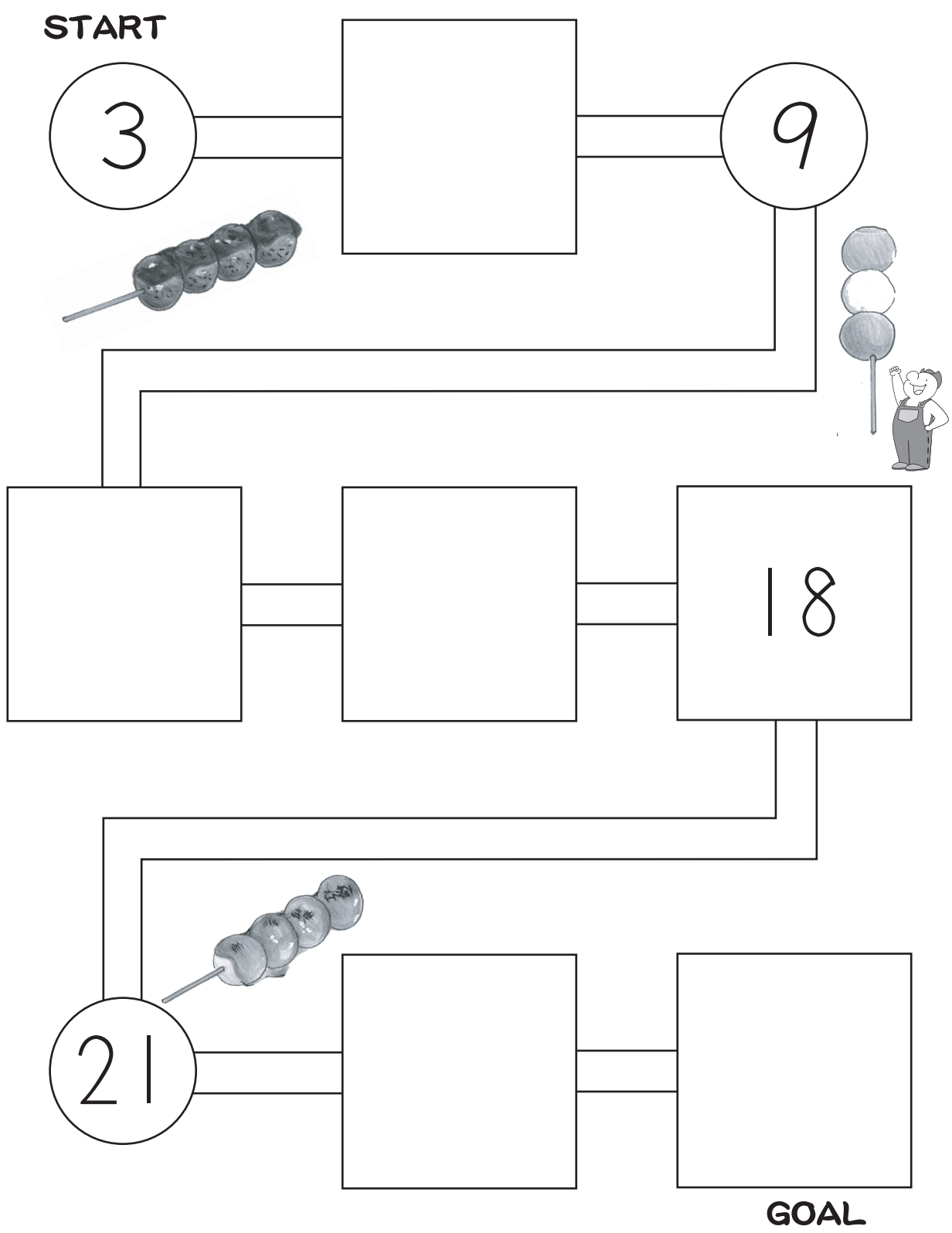
3とびで、GOAL までいきましょう。



口コモ 10 - 18

なまえ

あいている□の中なかに3とびで数字すうじをかきましょう。



口コモ 10-19

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

きも
肝

が^う売れる



かお
顔

を^ま巻く



した
舌

に^{めい}銘じる



口コモ 10 - 20

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

かお う
顔が売れる

しっかりおぼえて
おくよ



した ま
舌を巻く

ゆうめい
有名だね



きも めい
肝に銘じる

すばらしい!



口コモ 10-21

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

した^{した}ま^ま
舌を巻く

かんたん^{かんたん}ことば^{ことば}がでない^{ようす}様子。
感嘆して言葉がでない様子。



きも^{きも}めい^{めい}
肝に銘じる

せけん^{せけん}ひろ^{ひろ}し^し
世間に広く知られること。



かお^{かお}う^う
顔が売れる

わす^{わす}
忘れないように、しっかりと
こころ^{こころ}にとめること。



口コモ 10 - 22

なまえ

下から選んで慣用句をつくりましょう。

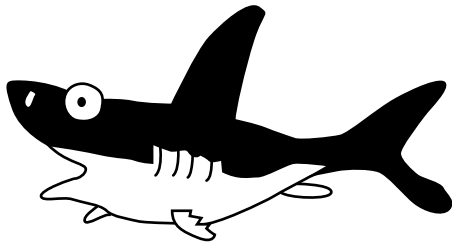
が^う売れる

を^ま巻く

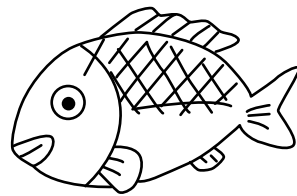
に^{めい}銘じる

した きも かお

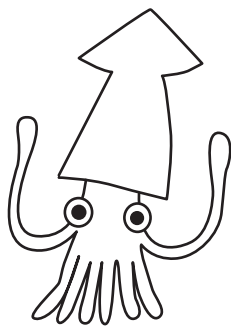
釣り針つばりをのどひに引っかけていたのは、何なんと
いう魚さかなですか。



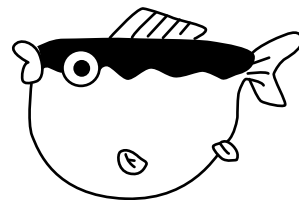
さめ



たい



いか



ふぐ

やま ひこ 山彦はどうして「満潮の玉、水、出ろ。」と言ったのですか？



- 1 やま ひこ た みず 山彦の田んぼに水がなかったの。
- 2 あめ こま 雨がふらなくて困っていたの。
- 3 うみ ひこ やま ひこ た よこど 海彦が、山彦の田んぼを横取りしようとしたの。

口コモ 10 - 25

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

あわじしま
淡路島
かようちどり
通ふ千鳥の鳴く声に

ひと
人こそ見えね
あき
秋は来にけり

なげ
嘆けとて
つき
月やは物を思はする

がお
かこち顔なる
なみだ
わが涙かな

やえ
八重むぐら
しげれる宿の寂しきに

う
憂しと見し世ぞ
いま
今は恋しき

ながらへば
またこのごろやしんのばれむ

いくよねぞ
幾夜寝覚めぬ
すま
須磨の関守

口コモ 10 - 26

なまえ

線^{せん}でむすびましょう。

なげ
嘆けとて
つき 月やは物^{もの}を 思^{おも}はする

う 憂しと見^みし世^よぞ
いま 今^{いま}は恋^{こい}しき

や え
八重むぐら
しげれる宿^{やど}の 寂^{さび}しきに

いくよ 幾^{いくよ}夜^よ寝^ね覚^ざめぬ
すま 須^{すま}磨^まの 関^{せき}守^{もり}

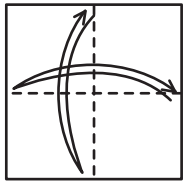
ながらへば
またこのごろやし^んのばれむ

かこち顔^{がお}なる
わが涙^{なみだ}かな

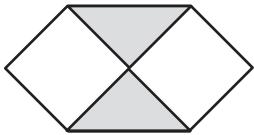
あわじしま
淡路島
かよう 通^{かよう}ふ千^ち鳥^{どり}の 鳴^なく声^{こえ}に

ひと 人^{ひと}こそ見^みえね
あき 秋^{あき}は来^きにけり

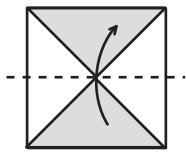
《おりがみへんしん》



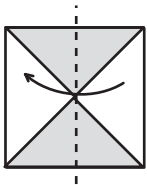
1 たてよこ はんぶんにおって おりせんをつける



3 うらがえす



5 はんぶんにおる

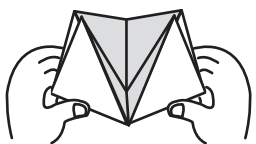


7 はんぶんにおる

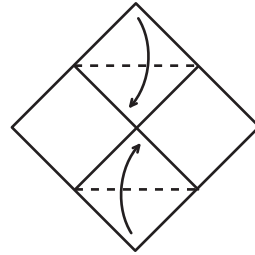


9 しろいところをつまみ いろのついためんをくっつけるようにおしつける

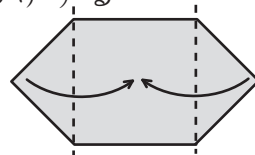
(へんしんのしかた)



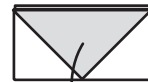
しろいところをつまんでうちがわをみると ぜんぶ いろのついためんになっている



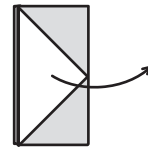
2 うえと したを さんかくにたにおりする



4 さゆうを たにおりする



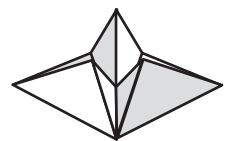
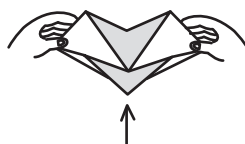
6 もとに もどす



8 もとに もどす



10 かんせい



しろいぶぶんをつまんでよこにひろげたのくぼみをうえへおしあげるようにして うらがえすと なかがしろといろのもようになる